

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1. 調査の概要

- ・実施日 平成 30 年 4 月 17 日（火）
- ・調査内容 ①教科に関する調査（国語 A、国語 B、算数・数学 A、算数・数学 B、理科（3 年に 1 回））
 A 問題：主として知識に関する問題
 B 問題：主として活用に関する問題
 ②学習意欲や学習方法、生活の諸側面等に関する児童生徒質問紙調査
 ③学校質問紙調査
- ・調査に参加した学校数・児童生徒数

神戸市	学校数	児童生徒数
小学校 6 年生	165 校	12,397 名
中学校 3 年生	84 校	11,098 名

※ 小学校には、義務教育学校前期課程 1 校、特別支援学校 1 校を含む
 中学校には、義務教育学校後期課程 1 校、特別支援学校 2 校を含む

2. 調査結果の概要

（1）各教科区分の平均正答率

	教科等		平成 30 年度（今回）			平成 29 年度
			本市	全国	比較	（全国比較）
小学校 6 年生	国 語	A	70	71	△1	△1
		B	53	55	△2	△1
	算 数	A	64	64	±0	±0
		B	53	52	+1	+1
	理 科	58	60	△2	±0 (H27 年度比)	
計	298	302	△4	△1		
中学校 3 年生	国 語	A	77	76	+1	+1
		B	61	61	±0	±0
	数 学	A	69	66	+3	+3
		B	49	47	+2	+2
	理 科	68	66	+2	+1 (H27 年度比)	
	計	324	316	+8	+6	

（2）教科に関する調査結果概要

- ・小学校の国語 B・理科が全国平均より 2 ポイント低く、課題がある。
- ・中学校の数学 A は、全国平均より 3 ポイント高い。また 数学 B・理科は、全国平均より 2 ポイント高い。数学・理科は、概ね良好な結果であった。
- ・中学校の 3 教科の合計ポイントは、全国平均の合計ポイントより 8 ポイント高く、昨年度と同様に良好な結果であった。

(3) 児童生徒質問紙調査の結果(抜粋)

※三角印は前年度結果との増減を示す

△：増加

－：変わらず

▼：減少

単位：％ ()内は全国平均

内 容	平成30年度	平成29年度	増減	平成30年度	平成29年度	増減
	小学校 (第6学年)	小学校 (第6学年)		中学校 (第3学年)	中学校 (第3学年)	
① 朝食を毎日食べていますか。 (「毎日食べている」と答えた割合)	82.3 (84.8)	85.7 (87.0)	▼	90.6 (91.9)	81.5 (82.7)	△
② 自分にはよいところがあると思いますか。 (「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	86.1 (84.0)	78.8 (77.9)	△	79.7 (78.8)	70.1 (70.7)	△
③ 学校の授業以外で、普段どれくらいの時間、勉強をしますか。(「30分以上勉強している」と答えた割合)	86.8 (90.0)	85.1 (88.7)	△	87.9 (87.2)	86.9 (86.8)	△
④ 家で学校の宿題をしていますか。(「している」「どちらかと言えばしている」と答えた割合)	97.7 (97.1)	97.7 (96.9)	－	92.6 (91.6)	90.3 (89.5)	△
⑤ 学校のきまり・規則を守っていますか。 (「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	90.7 (89.5)	93.6 (92.6)	▼	96.4 (95.1)	96.6 (95.2)	▼
⑥ 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	90.7 (89.5)			69.3 (73.8)		
⑦ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	77.1 (77.7)	66.7 (68.2)	△	74.2 (76.3)	59.8 (64.8)	△
⑧ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	97.2 (96.8)	96.4 (96.1)	△	95.4 (95.5)	92.7 (92.8)	△
⑨ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	95.6 (95.2)	93.5 (92.5)	△	95.3 (94.9)	92.0 (91.9)	△
⑩ 「算数・数学」の授業の内容はよく分かりますか。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	83.0 (83.4)	79.0 (80.6)	△	70.0 (71.0)	75.4 (74.9)	▼
⑪ 「理科」の授業の内容はよく分かりますか。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	88.3 (89.4)	86.3 (87.9)	△	67.7 (70.0)	66.1 (66.8)	△

※⑩の「理科」に関しては、平成27年度の児童生徒質問紙の結果と比較している。

(4) 学校質問紙調査の結果(抜粋)

※三角印は前年度結果との増減を示す

△：増加

－：変わらず

▼：減少

単位：% ()内は全国平均

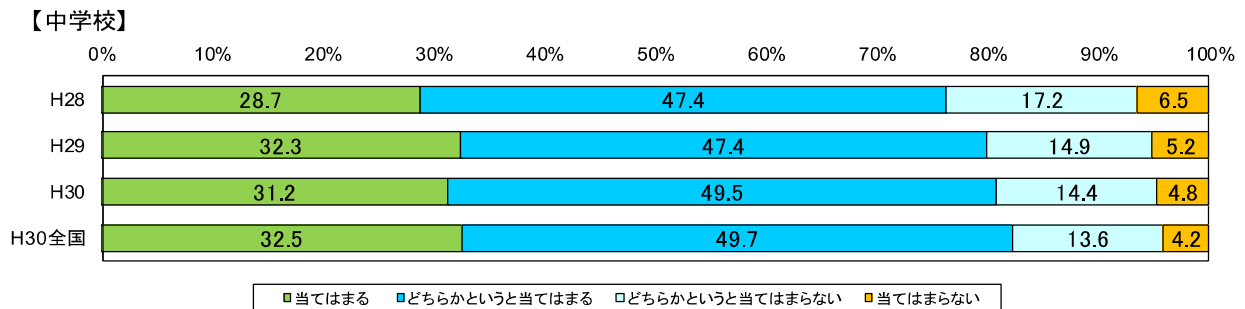
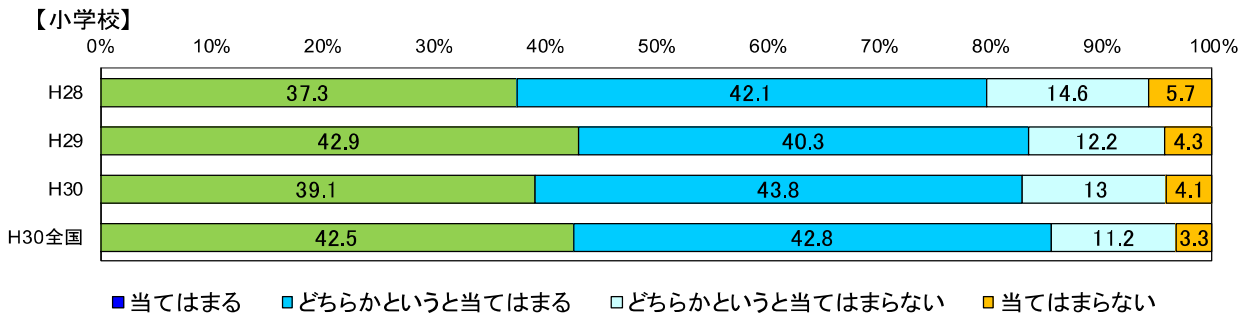
内 容	平成30年度	平成29年度	増減	平成30年度	平成29年度	増減
	小学校 (第6学年)	小学校 (第6学年)		中学校 (第3学年)	中学校 (第3学年)	
① 調査対象学年の児童生徒に対する算数・数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った。(「よく行った」「どちらかといえば行った」と答えた割合)	95.7 (96.7)	96.3 (97.5)	▼	92.9 (96.2)	96.8 (96.5)	▼
② 調査対象学年の児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか。(「よく行った」「どちらかといえば行った」と答えた割合)	86.6 (86.5)	84.2 (81.6)	△	64.3 (73.0)	47.5 (65.8)	△
③ 調査対象学年の児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し(分析し)考察する(解釈する)指導を行いましたか。(「よく行った」「どちらかといえば行った」と答えた割合)	95.1 (96.0)	95.1 (93.8)	－	90.5 (94.3)	81.7 (91.3)	△
④ 調査対象学年の児童生徒に対して、家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。(国語/算数・数学共通) (「よく行った」「どちらかといえば行った」と答えた割合)	80.6 (91.6)	82.4 (89.6)	▼	77.4 (87.1)	69.0 (82.2)	△
⑤ 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか。(「よく参加してくれる」「参加してくれる」と答えた割合)	98.8 (97.7)	95.2 (88.7)	△	89.2 (90.4)	94.0 (77.4)	▼
⑥ 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。(「よく行った」「どちらかといえば行った」と答えた割合)	97.0 (97.6)	95.8 (98.8)	△	96.4 (96.1)	96.5 (98.4)	▼
⑦ 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか(「よく行った」「どちらかといえば行った」と答えた割合)	98.2 (99.0)	96.4 (97.4)	△	97.6 (97.9)	91.6 (95.5)	△
⑧ 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか。(「よく行った」「どちらかといえば行った」と答えた割合)	97.0 (96.7)	95.2 (95.6)	△	89.3 (90.9)	81.0 (90.0)	△
⑨ 前年度までに、近隣等の小中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか。(「よく行った」「どちらかといえば行った」と答えた割合)	63.1 (69.5)	63.6 (65.6)	▼	83.3 (76.5)	70.3 (74.8)	△

※③、④の内容に関しては、平成27年度の学校質問紙調査の結果と比較している。

(5) 質問紙調査の経年変化(抜粋)

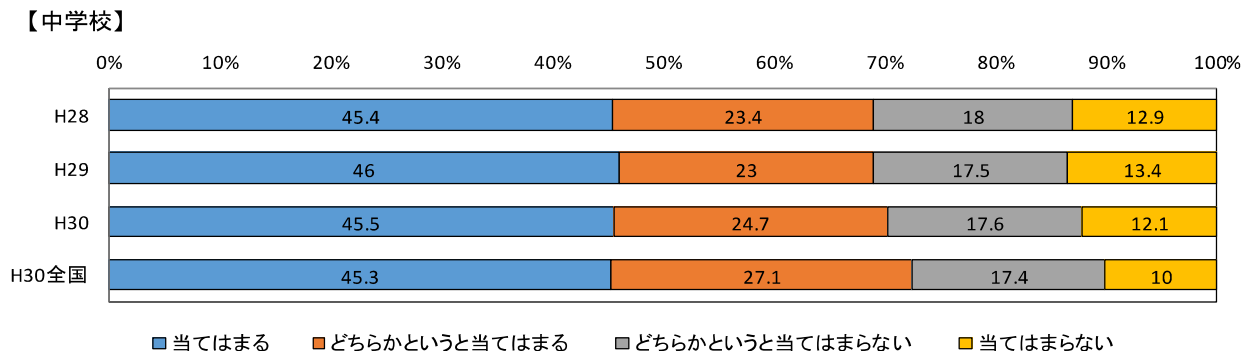
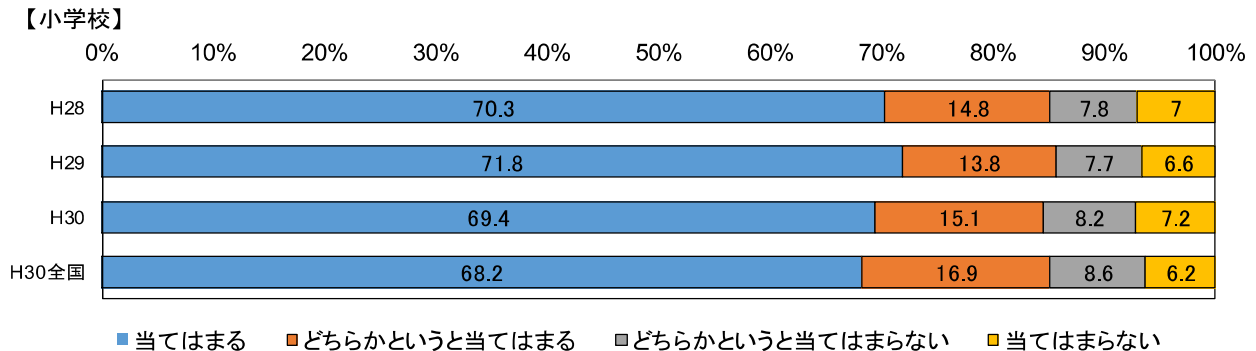
① 児童生徒質問紙調査より

「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」



・児童生徒が自分を認めてくれていると感じている割合が年々高くなっている。今年度は小学校も中学校も「当てはまる、どちらかという当てはまる」を足すと80%を超えている。

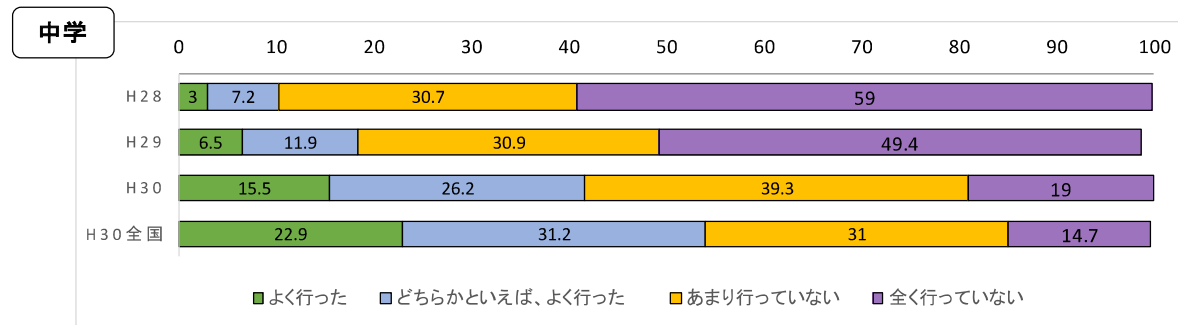
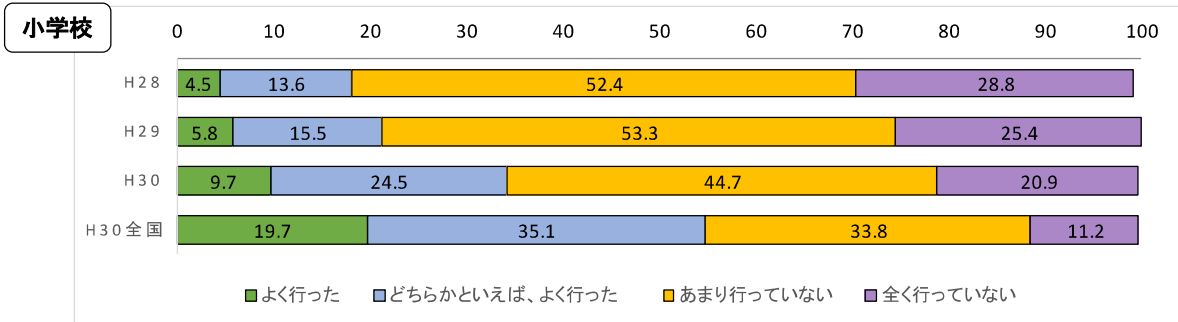
「将来の夢や目標を持っていますか。」



・毎年小学校の80%以上の児童は、夢や目標をもっている。
・毎年中学校のおよそ70%の生徒は、夢や目標をもっている。

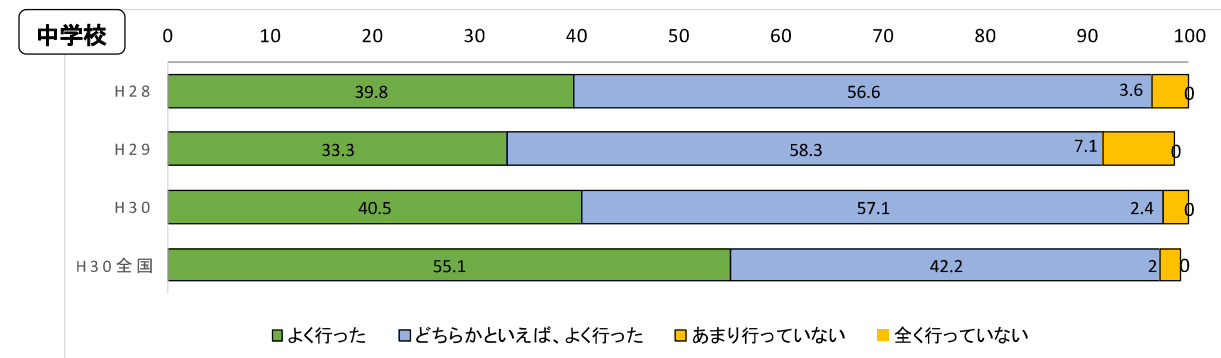
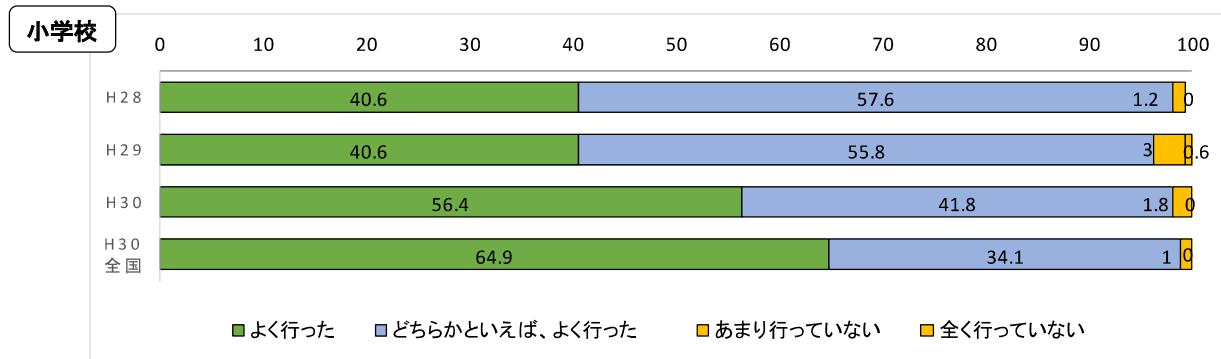
② 学校質問紙より

「コンピューター等の情報通信技術(パソコン等)、電子黒板、プロジェクター、実物投影機等を活用した授業を行いましたか。(H28,29は、国語算数の平均値、H30は、全教科の平均値)」



・ICT機器を使った授業が年々行われるようになってきているものの全国と比べると低調な状況である。

「児童生徒に対して、学校生活の中で一人ひとりの良い点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。」



・小学校の先生も中学校の先生も児童生徒を評価する(褒める)取組を「良かった」「どちらかといえば、良かった」を足すと90%以上である。